

令和6年度 第4回 奥山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月14日（金） 13:00～15:45
- 2 開催場所 奥山小学校 4階会議室
- 3 出席委員 猿田 重雄、河村 壽子、仲田 伸吾、高田 直機、金原 満久、
夏目 崇人、峰野 政博
- 4 欠席委員 野沢 正敏
- 5 学 校 藤社 美波（校長）、黒柳 泰行（教頭）、荒谷 朋子（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 荒谷 朋子
- 8 議長の選出

司会の教頭から本日の議長の選出について、前回協議通り金原委員にお願いする旨確認し、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校関係者評価
- (2) 来年度の学校運営の基本方針説明と承認
- (3) 学校運営協議会の取組についての振り返り

10 会議記録

司会から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

また、会議に先立ち、前回会議録の確認をお願いした。

(1) 学校関係者評価

教頭から本年度の学校評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 挨拶にはいろいろな種類がある。校門に立っての挨拶は素晴らしいが、それ以外の自然に出る挨拶については、家庭でも指導、意識づけが必要と感じる。（河村委員）
- ・ 挨拶をする子はすごくするが、個人差がある。（金原委員）
- ・ 学年が上がるにつれて、恥ずかしさも出てきて挨拶をしなくなる子もいる。（夏目委員）
- ・ 子供にとって知らない人が増えた。（高田委員）
- ・ 友達と遊ぶことが減ってきて、誰かの家に行っても挨拶をするようなことも減っている。（夏目委員）
- ・ 地域の人と身近すぎて家族と同じ感覚で挨拶をしないのでは。（猿田委員）
- ・ 大人が見本になっていくことが大切。（河村委員）
- ・ 放課後子供教室で見ていると、かなり強い口調で言う子もいるのがわかる。（河村委員）
- ・ いじめの定義が昔とは違い、自分がいじめられていると感じればいじめとなる。陰湿ないじめの方が問題と思う。多様性に応じた教育も大事だが、規律や共通理解を図るということも大事だと思う。（猿田委員）
- ・ どこまで言っているか、考えることができるようにならないといけない。上の学年の子供たちが弱い子を助けるようになってほしい。（夏目委員）
- ・ 学校と児童だけではなく、保護者も情報を共有して、風通しを良くしていく必要があり、学校だけの責任、児童だけの責任ではなく、保護者も含めて考えていったほうが良いと思う。柔軟な考えが必要。（猿田委員）
- ・ 休職される先生がいないのはありがたい。来年度の新入生が非常に少ないので、将来的

に少し心配になった。(河村委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 来年度の学校運営の基本方針説明と承認

校長より、来年度の学校経営方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 7年度から市の大会がなくなる。それによって部活動がなくなるが、子供たちの体力面で心配もある。(河村委員)
- 中学校も部活動の平日休みが増え、地域クラブ化が進む。このまま放っておくと体力の低下が心配だが、奥山小には持久走記録会や、縄跳び記録会がある。それに向かって頑張っているおかげで子供たち自身が成長を感じられるので、残していく。(校長)
- ・ 奥山小ならではの特色として、なにかプラスしてやることができないかとも思う。地域クラブ化といっても、地域で指導者もいない。(河村委員)
- ・ 昨年PTA会長をやった時に教育委員会の方と話すことができた。天竜のPTAの方とも話したが、街中とは何かをやりたい時に移動ギャップが大きい。部活動の地域クラブ化にしても、街中主体で考えるのではなく、田舎のことも考えてほしいと伝えた。(金原委員)
- ・ 部活動が減ることで、子供が活躍する場が減ることがかわいそうに思う。金銭面での保護者の負担や、時間が余ることで子供たちが悪い方にならないかということも心配。(河村委員)
- ・ 市の水泳大会がなくなったことで、スイミングをやめてしまうという子供もいる。運動の機会は減ってしまっている気がする。(夏目委員)
- ・ 行政としての指導・方策が定まっていないので、学校側の判断は難しいと思う。受け皿を作ることは必要。一つの地区で難しければ、いくつかの地区がまとまってなど、考えていかないといけない。(猿田委員)
- ・ 運動や団体行動をする中で、集団での関りや、目上の人との関り方などを学んでいたものがなくなるのが心配。(仲田委員)
- ・ 指導者の確保も問題。(猿田委員)
- ・ 体力維持のために、マラソン・縄跳びだけではなく、他に増やすことも必要と思う。(高田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の取組についての振り返り

本年度の取組について、委員からは以下の発言があった。

- ・ 学校教育を支えていく、サポートするシステムを作れたことがよかった。来年度も地域や保護者に広めて、学校からも意見をもらってサポートしていきたい。(猿田委員)
- ・ 難しいことではなく、学校を地域などから支えていくことが大事で、今後も引き続きやっていきたい。(河村委員)
- ・ 回覧板で地域の人に地域人材がかかわる行事をお知らせし、自分も関わることもできた。少しずつでも思いを実行に移していきたい。それが、10年後より良い結果になると思う。講師をして一番困っているのは、子供たちからしゃべらせることが難しい。(高田委員)
- ・ コーディネーターとして学校と地域をつなげる役割で、今年度ようやく家庭科のボランティアを進めることができた。今後も関われる部分を増やしていきたい。(仲田委員)

- ・ 昨年からの2年間で、1年ごとに成長が感じられ、熟議から活動に一步ずつつなげることができた。(金原委員)
- ・ 学校がやっていることを見ることができ、奥山の良さも感じられた。保護者の学校への関わり意識が減ってきている。コミュニティが減ってきているためか、口伝えで手伝いが増えていくことが難しい。案内文書だけではなく、どのように参加につなげられるかが課題。(夏目委員)
- ・ 参加してみて、学校とのつながりが、自治会長としての仕事につなげられることも学べた。(峰野委員)

各委員の自己評価に基づき、本年度の学校運営協議会自己評価をまとめた。(別紙参照)

11 報 告

(1) 夢育やらまいかCS加算分の報告

教頭より一人二鉢運動の報告を行った。

(2) 学校支援コーディネーター活動

来年度以降もボランティア「スケッターズ」への参加促進を図っていきたい。

12 そ の 他

(1) 今後の予定

①第1回運営協議会

日時 令和7年5月中旬 午後

内容 学校運営方針についての確認、いじめ対策の方針についての確認、
本年度の方向性についての検討

②第2回運営協議会

日時 令和7年7月1日(火) 午後

内容 授業参観、児童の実態について情報交換

③第3回運営協議会

日時 令和7年10月1日(水) 午後

内容 前半の取組を振り返り、後半の方向性を確認

④第4回運営協議会

日時 令和8年2月13日(金) 午後

内容 授業参観、学校関係者評価、次年度の学校運営方針説明、
本年度の振り返り

(2) 令和7年度学校運営協議会組織について

(3) 連絡事項

校門の背の高い木「センペルセコイア」を、小学校を建て替える時に植えたようだが、『あすなる門』なので、「あすなる」を本来は植えたいということと、庭師からも背が高すぎて危険という話がでている。

学校だよりに情報を載せて、1年ほど様子を見て、問題なければ伐採して「あすなる」に植え替えたい。